

けんぱくものしりシート

ツキノワグマ



やあ！ ぼく、ツキノワグマ！ ツキノワグマは日本では、本州と四国の山地に生息しているよ。ちなみに岩手には、3400頭くらい生息しているよ（2013年度時点での推定生息数）。今日は、ぼくたちツキノワグマのことについていろいろおしえちゃおう！

目：視力は弱いんだ。

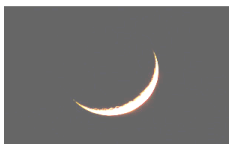
耳：小さな音でも聞き分けることができるくらい、よく聞こえるよ。

鼻：犬のようにわずかなニオイをかぎ分けられるくらい、鼻が利くよ。

体長（大人）：
110 cm～150 cmくらい
体重（大人）：
80kg～120kg くらい

【佐藤嘉宏氏撮影 北上山地にて】

胸：三日月形の白い模様があることから「ツキノワグマ」とよばれているよ。



足：前足は力が強くて、がんじょうなツメが生えているんだ。この前足でじょうずに木に登るよ。だから特技は木登りだよ！ あとは、水泳も得意だし、足も速くて、人間より速く走れるよ！



前足



ケンくん

もっと知りたい！ツキノワグマさん！



ハクちゃん



ツキノワグマさんは何を食べているの？

主に木や草の若葉や実（ドングリなど）を食べるよ。それ以外には、ハチやアリなども食べるよ。特にハチミツは大好きだよ！



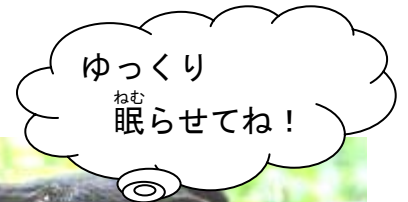
クマって怖いイメージがあるんだけど…。

そうだよ、怖いって思う人もいるかもしれないけど、本当はおとなしくて、内気なんだ。あ！でも、子連れの母グマは強気だけどね。時々、人間をケガさせてしまうことがあるけど、それは、ぼくたちがびっくりして、自分の身を守ろうとしているからなんだ。だから、森の中に入る時は、クマよけ鈴などを身につけて人間の存在を知らせてくれればケガをさせることはないよ。



これから“冬ごもり”をするって本当？

本当だよ。寒い地域で暮らすぼくたちは、12月くらいから5月くらいまで“冬ごもり”をするよ。穴の中で眠って過ごすんだ。冬はぼくたちのエサがないからね。冬ごもりの間は、飲んだり食べたりしないし、うんちもおしっこもしないで眠っているよ。そして、なんと母グマは冬ごもりの間に赤ちゃんを産み、食事を全くしないで、おっぱいを飲ませて育てるよ。だから、冬ごもりをする前の今の時期は、オスもメスもドングリとか山ブドウとか、いろいろなものをいっぱい食べて、体に脂肪をつけて冬ごもりの準備をするよ。ただ、ぼくたちの眠りは浅くて、なにかのものおとやおおこえおしずねむ物音や大きな声で起きてしまうので、静かに眠れるように、ぼくたちをそっとしておいてね。



【佐藤嘉宏氏撮影 北上山地にて】

参考にした本 『野生動物と生きる～岩手のシカとクマ』 岩手県立博物館 2009年/
『小学館子ども大百科キッズペディア』 小学館 2011年 他

来月（12月）の
けんぱくものしりシートは
体験学習室-11だよ！
おたのしみに！



モっちゃん



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田宇松屋敷 34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>